|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年2月19日（水） | 資料3 |
| 令和元年度第3回自立支援協議会 | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部会名 | 令和元年度　第3回　相談支援部会 | | |
| 日時 | 令和2年1月17日（金）　14：00～16:00 | | |
| 場所 | 板橋区情報処理センター 7階 勉強室 | | |
| 参加者 | 委員15名、事務局4名 | | |
| 会議の公開（傍聴） | 公開（傍聴できる） | 傍聴者数 | 2人 |
| ○協議事項  （１）今年度の部会年度計画書の振り返り  【課題１】相談支援の在り方  ・第２回部会の際に結果報告をおこなった相談支援専門員実態調査で明らかになった課題と現時点での対応状況等について報告した。  モニタリング回数の増加に伴う業務負担増→書式の変更を検討  受給者証確認の困難→受給者証送付の際に相談支援事業所への提示を促す書面を同封するなど対応策を検討・実施  【課題２】相談支援の質の確保  ・相談支援事業所に係る各連絡会の実施実績について報告  ・相談支援事業所実務担当者連絡会  １１月１３日　意見交換会（モニタリング報告書書式変更について  １２月１１日　学習会（難病対策・難病事業について）  　１月１５日　事例検討会（グループスーパービジョン）  ・地域移行支援連絡会  １１月１２日　各事業所の現況報告、医療機関からの地域移行利用等状況報告、個別給付数や区としての目標数について  ・障がい児相談支援交流会  １１月２９日　福祉事務所との情報共有、事業所の紹介、相談支援専門員と保育園や学校との連携について  【課題３】基幹相談支援センター事業の充実  ・基幹相談支援センターの事業実績について報告  【課題４】地域生活支援拠点等の整備促進  ・地域生活支援拠点等の整備について、整備の方向性等について説明  ・その他  新規利用者の事業所探しの困難さについて→各事業所への受け入れ可能数の調査結果について、福祉事務所にて事業所一覧を配付する際に併せて紙面で配付するなどの対策を実施 | | | |
| （２）相談支援部会からの提案について  別紙のとおり、提案することとした。  （３）次年度相談支援部会年度計画（案）について  今年度の振り返りを基に来年度の課題について以下のとおり定めた。  【課題１】板橋区における相談支援の在り方（前年度実施の調査結果の検証・セルフプラン対応・事業所を増やす取り組み・地域移行、定着の促進）  【課題２】相談支援の連携強化（負担軽減・相談支援専門員に対する研修・学習会の実施）  【課題３】基幹相談支援センター事業の充実（機能拡充・基幹相談支援センターの増設）  【課題４】地域生活支援拠点等の整備促進（継続的な進捗確認・他機関との連携・他部会同士の連携） | | | |

令和２年２月１９日

板橋区地域自立支援協議会

　会長　是枝　喜代治　様

板橋区地域自立支援協議会

相談支援部会

部会長　中山　眞知子

相談支援部会からの提案

相談支援部会で協議してきた内容から、優先度の高い地域課題を、以下のとおり、提案いたします。

|  |
| --- |
| **１．相談支援の在り方**  （1）相談支援事業所単独での経営が難しい状況であり、撤退する事業所もある。  （2）経営状況から、相談支援専門員の配置を増やすことが難しい。  （3）モニタリング頻度の増加に伴い、事務作業も増加した。利用者に寄り添い丁寧な支援をするためにも、事務作業の効率化が必要である。  （4）受給者証の確認が難しい利用者がおり、そのやり取りで疲弊してしまう。 以上から、経営継続可能な事業運営のための施策を提案していくとともに、具体的な提出書類の様式変更や方法等を検討して提案していく。  （5）地域移行支援・地域定着支援の推進に繋がる仕組みを作っていくことが必要である。  **２．相談支援の連携強化**  主に相談支援事業所実務担当者連絡会で研修・学習会を実施してきたが、不参加の事業所が多いため、実態を調査し、全体のベースアップを図っていく。  **３．基幹相談支援センター事業の充実**  （1）新たな事業展開・機能拡充については、人員配置等で難しい状況である。引き続き、充実に向けて板橋区と協議しながら取り組んでいく。  （2）板橋区立施設の再編に伴い、基幹相談支援センター増設を求めていく。  **４．板橋区における地域生活支援拠点等の整備促進**  令和2年度末までに、各市区町村に整備することが目標とされている地域生活支援拠点について、地域自立支援協議会の各部会同士が連携していくことが必要である。 |